тоуотомі

トヨストース

取扱説明書

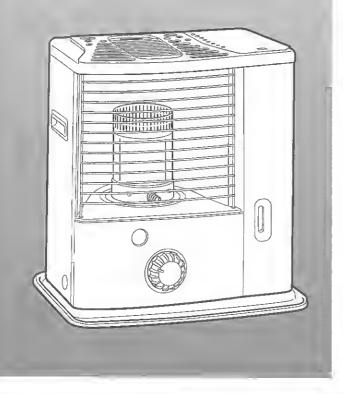
型 式 RS-S29A 型 式 RS-S23A

自然通気形 開放式石油ストーブ

このたびは本機をお買い求めいただきまことにありがとうございます。

- ●で使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。 この「取扱説明書」は、保証書と共
- ●取扱説明書を紛失された場合は、お 買い求めの販売店にご相談ください。

に大切に保管しておいてください。



目次

① 安全のために必ずお守りください② 使用する場所③ 各部のなまえ④ 使用前の準備ストーブを取り出す燃焼筒をセットする乾電池を取り付ける	····4 ····5~8 ····5~6 ····6
燃料	
給油のしかた	
点火前の準備と確認	8
5 使いかた	····8∼10
点火のしかた	8
炎の調節のしかた	9
消火のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····9~10
6 安全装置	10
☑ 点検・手入れ	····10~11
8 定期点検	12
9 故障・異常の見分けかたと処置方法	12
10 部品交換のしかた	13
	····13~14
12 廃棄するとき	
13 仕様	• •
[4] アフターサービス	
	42C3-C44A





安全のために必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいた だくことを説明しています。

●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険(DANGER)

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、ま たは火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告(WARNING)

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、 または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意(CAUTION)

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損 害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。











この絵表示は、「禁止」さ れている内容です。



この絵表示は、「注意」し ていただく内容です。

この絵表示は、必ずして いただく「指示」内容です。

説明文中の「お願い」事項は、本機を誤りなく正しく お使いいただくための内容が記載されています。

、危険(DANGER)

★ガソリン使用禁止

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。 少量の混入でも、火災の原因になります。







警告(WARNING)

★換気必要

●換気せずに使用しつづけないでください。 酸素が不足すると、不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。 また、乳幼児や呼吸器疾患などのかたは、体調不良になるおそれがあります。

●使用中は必ず1時間に1~2回(1~2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。 ●換気する場合は、換気扇を使用したり(換気扇を使用する場合は、離れた位置の窓を開 けないと充分な換気ができない場合があります。) 2カ所以上の (風の出入りのある) 開口

部を設けると効率よく換気できます。 窓が凍結していたり、地下室などで換気が充分におこなえない場所では、使用しないでください。





★給油時消火

給油は、必ず消火しているこ とを確認し、ストーブの温度 が充分に下がってから、他に 火の気のない所でおこなって ください。

火災の原因になります。





消火

★可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋 で、可燃性ガスが発生するも の(ガソリン、ベンジン、シ ンナー) や、スプレーを使用 しないでください。 火災の原因になります。





★スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ 用ボンベなどを、ストーブの 上や前に放置しないでくださ





禁止

熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

★空だき厳禁

なべ、やかんやフライパンな どは、空だきしないでくださ W 空だきすると火災の原因になります。

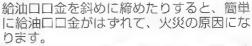




★油漏れ危険

●給油口□金は確実に締めて ください。

給油口口金を下にして、油 漏れがないことを確かめて ください。



●油タンクから油が漏れる状態では絶対に使 用しないでください。火災の原因になりま





★燃焼筒は正しくセットする

点火操作後、燃焼筒つまみを左右に2~3回動かし、燃焼筒が正しく、しん調節器にセッ トされているか、しんの上にのっていないかを必ず確かめてください。 マッチ点火の場合は、マッチの燃えかすをしん付近やストーブ内に落としたり、置台の上 に置かないでください。 事故や火災の原因になります。





⚠警告(WARNING)

★カーテン、寝具など、可燃物近接厳禁

- ●カーテン、布団、毛布などや燃えやすいもののそばでは使用しないでください。 火災の原因になります。
 - ストーブの前に可燃物を置かないでください。
 - ストーブの熱気で着火して、火災の原因になります。
- ●可燃物との離隔距離については、P.4の ★可燃物(木壁、合板、ふすまなど)との距離を 離すの記載内容を参照してください。

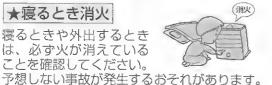


GAJ (



★寝るとき消火

寝るときや外出するとき は、必ず火が消えている ことを確認してください。





★衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しな いでください。

衣類が乾燥すると、ストーブ の熱気でゆれて落下して火がつき、火災の原 因になります。



⚠注意(CAUTION)

★大なべ禁止

●天板からはみ出すような大 きななべ、鉄板などをのせ ないでください。

内部に熱がこもったり炎が 横にのびたりして異常燃焼のおそれがあり

●不安定なやかん、なべなどは使用しないで ください。 転倒するおそれがあります。



禁止

★やかんやなべなどの使用注意

やかんやなべなどをのせた場 合は、細心の注意をしてくだ さい。

振動や接触によって、やかん やなべなどの熱湯がこぼれ、

やけどをしたり、外筒(ガラス)が割れたり、 異常燃焼(立炎)の原因になります。

吹きこぼれたり、煮こぼれたりした場合は、お 買い求めの販売店に点検を依頼してください。 ストーブの故障の原因になります。

やかんやなべなどを油タンクふたの上にのせな いでください。内部に熱がこもり、油タンクふ たなどが熱くなりやけどのおそれがあります。



注意

★移動・運搬するときの注意

- ●ストーブを移動する場合は、必ず消火し、 ストーブの温度が充分に下がってから、油 タンクを取り出し、傾けないように静かに 移動してください。
- ●修理・引越しなどで、ストーブを運搬される 場合は、電池ケースから乾電池を取りはずし て、油タンクを取り出し、油受けざらの灯油 を必ず抜いてください。運搬の途中に灯油が こぼれて、周囲を汚すおそれがあります。



★異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の状 態など異常燃焼を起こしたと きは、使用しないでください。 緊急の場合でもあわてずに、しんを下げて消 火してください。





使用禁止

★変質灯油禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油 (灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油な ど)を使用しないでください。

異常燃焼や故障(しんが下がらない、点火で きない、火が消えない)の原因になります。



★燃焼中移動禁止

火のついたまま持ち運ばない でください。 やけどのおそれがあります。 また、転倒すると火災になる おそれがあります。







★高温部接触禁止

●燃焼中や消火直後は、高温 部、天板(ストーブの上面) やガードに手などふれない よう注意してください。 やけどのおそれがありま す。





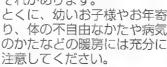
●やかんやなべの取っ手は、加熱している場合

もありますのでやけどに注意してください。

池を取りはずしてからおこなってください。

★ふく射熱に長時間あたらない

ストーブの間近でふく射熱に 長時間あたりつづけると、低 温やけどや脱水症状になるお それがあります。 とくに、幼いお子様やお年寄 り、体の不自由なかたや病気







★高電圧注意

点火装置は、点火時に高電圧 が発生します。点火プラグに 不用意にさわらないでくださ い。



感電のおそれがあります。 掃除、点検・手入れをするときは、必ず乾電



★ほこりの除去

反射板、置台、製品内部のほこりをときどき 除去してください。

前板の下から燃焼用空気を吸い込みますの で、紙やビニールなどを入れないように注意 してください。

ごみ、ほこりなどがつまると、異常燃焼や火 災の原因になります。



⚠注意(CAUTION)

★安全装置の作動確認

●使用開始時と、使用中は1箇月に1回以上、 対震自動消火装置を作動させて確実に消火 することを確かめてください。 確実に消火しないときは使用しないで、す ぐに修理してください。

●使用開始時と、使用中は1箇月に1回以上、 気密油タンクの給油時消火装置が作動する ことを確かめてください。 正常にセット、作動しないときは使用しな

いで、すぐに修理してください。



確認

★保管時にしていただくこと

●長期間使用しないとき、または保管すると きは、必ず灯油を抜いて、電池ケースから 乾電池を取りはずしてください。 傾けたり、横倒しの状態では保管しないでく ださい。 火災のおそれがあります。

指示

●しんの手入れ(から焼きクリーニング)は、 風があたる場所ではおこなわないでくださ い。

火災のおそれがあります。

★純正部品の使用

しんなどの部品は、必ずトヨトミ純正部品 (指定された部品)を使用してください。 純正部品を使用しないと、ストーブの性能を 損なうばかりでなく、故障や予想しない事故 が発生するおそれがあります。



★お子様やお年寄りのご使用に注意

お子様やお年寄り、体の不自由なかたがお使 いになる場合は、ストーブの取扱い、部屋の 換気、高温部への接触によるやけど、低温や けどや脱水症状などについて周囲の人が充分 に注意してください。



★分解修理・改造の禁止

故障、破損したら使用しないでください。 ストーブは絶対に改造して使用しないでくだ さい。 不完全な修理や改造は危険です。



★燃焼筒のガラス割れ使用禁止

燃焼筒の外筒(ガラス)が欠けたり、割れて破 損したままの状態では、絶対に使用しないで ください。



異常燃焼を起こしたり、すすが発生するおそ 使用禁止 れがあります。

★廃棄するとき

ストーブを廃棄処分するときは、必ず油タン ク、油受けざら内の灯油を抜き取り、電池ケ -スから乾電池を取りはすしてください。 (门) 保管 参照)



灯油や乾電池が入ったまま廃棄するとリサイ クルの際、予想しない事故が発生するおそれ があります。

★点火前の注意

使いはじめや、しんのお手入れをした後は、 しんに充分灯油がなじむよう、給油してから 約20分待って、点火してください。 しんに充分灯油がなじんでいないと、しんの 上下操作が重くなったり、点火や消火ができ ないことがあります。



★正常燃焼の確認

燃焼中はときどき炎を見て、正常燃焼していることを確かめてください。 しんが上がりすぎたり、燃焼筒がずれていると、すすが出て異常燃焼を起こして危険です。



★次の場所では使用しない

火災や予想しない事故や故障の原因になります。

(水平でない場所、不安定な場所)

- ●傾斜した場所や振動の激しい所では、使用しないでく ださい。
 - 対震自動消火装置が誤作動することがあります。
- ●しっかりしたじょうぶな場所で使用してください。
- ●移動車両の中や、不安定な台の上で使用しないでくだ さい。転落したり、火災になるおそれがあります。

(暖炉などストーブが囲われる場所)

暖炉や押入れに入れての使用など、特殊な使いかたをし ないでください。

火災の原因になります。

(ほこりや湿気の多い場所)

粉類や繊維を取り扱う場所や温室・養鶏場など、塵やほ こりの多い場所では使用しないでください。 燃焼用空気を取り入れる箇所が目づまり状態になり、異 常燃焼を起こすおそれがあります。

(温室・飼育室など人のいない場所)

使用環境の変化で、予想しない事故が発生するおそれが あります。

(風のあたる場所、部屋の出入口、屋外)

●風のあたる場所や屋外では使用しないで ください。炎が出て危険です。 掃除機の排気にも注意してください。



●部屋の出入口など人の通る場所、人がぶつかったりつ まずく場所で使用すると、転倒して事故や火災が起き るおそれがあります。

(不安定な物をのせた棚などの下)

落下物により火災が起きるおそれがあります。

(直射日光のあたる場所、温度の高い場所)

- ●異常燃焼を起こすおそれがあります。
- ●油タンクの灯油があふれ出て火災のおそれがあります。

(可燃性ガスの発生する場所、またはたまる場所)

爆発や火災の原因になります。

(理・美容院、クリーニング店などスプレーや化学薬品を使う場所)

化学薬品がストーブの熱で変化し、ストーブの故障や、 腐食性ガスの発生により金属・鏡・ガラスなどを傷める 原因となります。

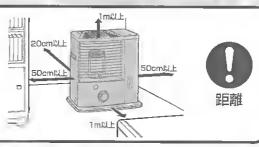
(高地 (1300m以上の場所) `

酸素濃度が薄いので異常燃焼を起こすおそれがありま す。

⚠注意(CAUTION)

★可燃物(木壁、合板、ふすまなど)との距離を離す

- ●ストーブから可燃物との距離は、右図の指定以上の距離を保つように してください。
- ■ストーブ上方の棚などとの距離は必ず1m以上離してください。
- ●上方の棚などからの落下物がないようにしてください。 ●カーテンなどが風でゆらいでもストーブにふれないようにしてください。
- ●家具などからは充分な距離を離してください。 熱で変形や変色、自然発火することがあります。



お願い(NOTICE)

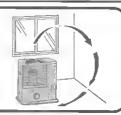
★灯油の廃棄

灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

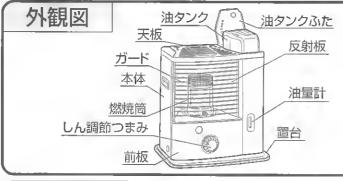
2 使用する場所

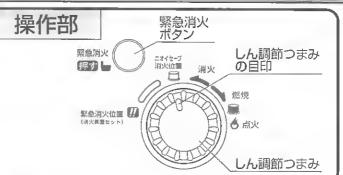
★効果的に使用するために

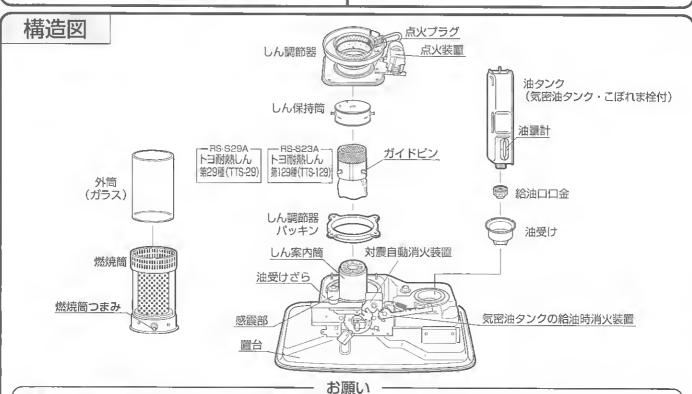
- ●外気に接する窓の下や壁面など、冷気の入ってくる場所にストーブを置くと、冷気がストーブで暖 められて上昇対流しますので、部屋の温度のムラが少なくなり効果的な暖房ができます。 ただし、部屋の出入口や人の通る場所、風のあたる場所、可燃物のそばには置かないでください。
- ▶部屋の空気をサーキュレータなどで対流させますと、部屋の温度のムラがより少なくなり、効果的 に暖房ができます。(このときストーブには直接風があたらないように注意してください。)



3 各部のなまえ







耐熱しんに、灯油の燃えかす(タール)が多量に付着しますと、しんが下がらなくなったり点火しにくくなったり します。 🔲 保管 [9 しんの手入れをする] を参照して、しんのから焼きクリーニングをしてください。

ストーブを取り出す

1 包装箱に表示してある「包装の内容」をごらんになったうえで、包装箱から包装材などを取り除き、製品を傷付けないように取り出してください。

包装箱や包装材はストーブを保管するとき に必要です。取扱説明書・保証書も忘れず に保管してください。

お願い・

包装材は可燃物ですから、必ず取り除いて ください。

2 ガードの右下すみを少し持ち上げて手前に引き、ガードを開けてください。



RS-S29Aの場合

3 燃焼筒を納めて 包装材 になる 包装材は、 燃焼筒をしっか 燃焼筒 りおさえながら 右図のイラスト のミシン目にそって切り取ってください。



お願い

包装材を切り取る際、手前へ持ち上げるよう にして、天板等に手をぶつけないように注意 し、手袋などを使用してください。

- 4 包装材を左右に拡げるようにして取りのぞいてください。
- 5 反射板固定用のテープを取りはずしてください。



RS-S23Aの場合

- 3 燃焼筒を納めている包装材を取り除き、燃焼筒を取り出してください。
- **4** 反射板固定用のテープを取りはずしてください。

燃料

介危険

★ガソリン使用禁止

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。 少量の混入でも、火災の原因になります。







- ●燃料は灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。
- ●変質灯油、不純灯油は、絶対に使用しないでください。
- ●誤ってガソリンなどの燃料を使用したことがわかったときはあわてずに、緊急消火ボタンを押して消火してください。
- ●変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水、ごみが混入した灯油など)は、絶対に使用しないでください。 異常燃焼や故障の原因になります。
- ●市販されている助燃剤(添加剤)は使用しないでください。異常燃焼を起こすおそれがあります。

●灯油の保管のしかた

- ●灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射 日光を避けた場所に保管してください。
- ●灯油容器は専用のきれいな容器を使用してください。また灯油容器は必ず色付きの灯油専用容器を使用してください。
- ●灯油容器内の灯油が少ないと温度変化により結露して水がたまることがあります。
- ●ドラム缶などで、長期間大量に保管しないでください。
- ●お子様の手のとどかない所に保管してください。

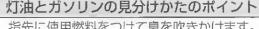
火気危険

禁止

使用禁止

変質灯油とは

- ●古い灯油。(ひと夏持ち越した灯油)
- ●長期間、日光の当たる場所や、温度の 高い場所に保管した灯油。
- ●容器のふたが開けてあったり、乳白色の容器で保管した灯油は変質しやすい。
- ●変質のひどいものは黄色味をおびたり、 すっぱいにおいがします。
- ●変質を防ぐため灯油は翌シーズンに持ち越さないようにしてください。



指先に使用燃料をつけて息を吹きかけます。 (火の気のない所でおこなってください。)

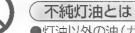
0 灯油

濡れたままです。



× ガソリン

すぐに乾いてしまいます。



●灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天 ぷら油、機械油、重油など)がほんの少 しでも混入した灯油。

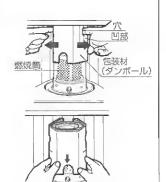
●水やごみが混入した灯油。



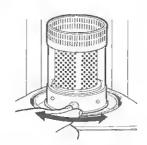




燃焼筒をセットする



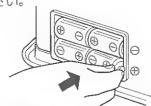
燃焼筒をしん調節器の上に正しくセット し燃焼筒つまみを左右に2~3回動かし、 燃焼筒が正しくセットされているか確か めてください。



ガードを、もとの位置に閉じてください。

乾電池を取り付ける

- 乾電池は別売です。
- ●市販の単二形乾電池 (4個) を購入の上、本体 後側の電池ケースに、 ⊕ ⊖ を正しく合わせ て入れてください。



●新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しますと、点火できなかったり、点火しにくくなったり、液漏れや破裂する原因になります。

お願い -

製品の輸送中に生じた外筒(ガラス)の破損、 燃焼筒の変形、ねじのゆるみや、はずれな どがないか調べてください。

変質灯油・不純灯油の見分けかた

(コップに水を入れ、次に灯油を入れて背後に白い紙をあてます。)

保管期間が短く、水と同じ無色透明なら正常。



少しでも色がついていたら使用しない。





紫外線で灯油が劣化した時は、灯油が変色しにくく見分けかたが難しくなります。

ひと夏持ち越した灯油は無色透明で も絶対に使用しないでください。

変質灯油や不純灯油を使用すると

- ●変質灯油や不純灯油を使用しますと、灯油の程度にもよりますが、1~30日のご使用でしんに多量のタールがたまり、しんの先端が固くなったり、点火しにくくなったり、しんが上下しにくくなったり、炎が大きくならなくなったり、激しいにおいがしたりします。
 - また、消火時にしんが下がらず火が消えなくなります。
- ●水の混入した灯油を使用しますと、油タンクに 灯油が残っていても炎が小さくなったり、しん が上下しにくくなったり、異常燃焼を起こして 激しいにおいがしたり、火が消えたりします。
- ●ガソリン、シンナーなど、揮発性の高いものが 混入した灯油を使用しますと、火災の原因にな ります。



万一変質灯油や不純灯油を使ったときの処置のしかた

- 1 油タンクや油受けざら内の悪い灯油を抜き取り、良質の灯油で内部を2~3回洗浄してから良質の灯油に入れ替えてください。(悪い灯油が残っていると再発します。)
- 2 日 保管 「9 しんの手入れをする」を参照して、しんの先端の固くなっている部分を、ラジオペンチなどで軽くつぶしてから、しんのから焼きクリーニングをおこなってください。
- 3 しんの手入れをおこなっても効果のないときや、水が多量に混入している場合は、しんを取り替えてください。
 - しんの取り替えは、販売店までお問い合わせ ください。

お願い -

変質灯油や不純灯油が原因でアフターサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料修理となります。

給油のしかた

⚠ 警告

給油は、必ず消火していることを確認して、ストーブの温度が充分に下がってから、 他に火の気のない所でおこなってください。 火災の原因になります。



消火

1 油タンクを取り出す。

- ●給油口口金を取りはずす前に、先端の弁部を押す と、給油口口金が取りはずしやすくなります。





2 油量計を見ながら給油 する。

- ●市販の給油ポンプの先端 をジャバラの手前まで差 し込んで、油量計を見な がら給油してください。 (ホースが抜けないよう に注意しながら給油して ください。)
- ●灯油は、油量計のほぼ上部(右図の<u>給油位置</u>→)まで給油してください。 入れ過ぎますと、あふれ出ることがありますので充分に注意してください。



- お願い -

- ●油タンクの中にある「こぼれま栓」の弁が、給油口の近くまで上がっているときは、弁を下へ押し下げてください。
- ●油タンクの中にある「こぼれま栓」は、給油口口金がはずれたときに、油漏れを防ぐ装置ですので、取りはずさないでください。

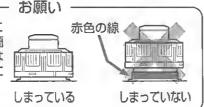


3 給油口口金を「カチッ」と 音がするまで右「 ()」に 回して、しっかり締める。



- ●正しく締めると油タンクの赤色の線が見えなくなります。
- ●給油口口金を下にして、油漏れがないことを確か めてください。

給油口口金を斜めに 締めたりすると、簡 単に給油口口金がは ずれ、火災の原因に なります。



給油する場合は、類似している給油口口金がありますので、間違えないよ

●油タンクから灯油が漏れ

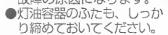
ださい。

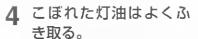
る状態で使用しないでく

火災のおそれがあります。

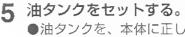
●同時に多数の油タンクに

ますので、間違えないようにしてください。 灯油が出なくなったり、 故障の原因になります。





●こぼれた灯油は必すきれいにふき取ってください。 危険ですし、燃焼中に臭 気を発生する原因にもなります。



■油タングを、本体に正し く、ゆっくりとセットし てください。





〔本機の給油口口金〕









- お願い

オート給油ポンプ (自動停止装置付)を使用する場合

●市販のオート給油ポンプ(自動停止装置付)の中には、 「こぼれま栓」と干渉して、次のような不具合状態になり、正しく給油できないものがあります。

[不具合] 1 スイッチを入れると、すぐに停止して しまう。

(処置) ●油タンクに差し込むホースの センサー部の位置(方向)を 変える。

●ポンプの乾電池の消耗度を確かめる。消耗していれば交換する。

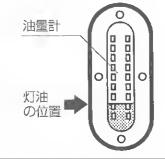
2 自動停止しない。灯油があふれてしまう。

(処置) ●ポンプの取扱説明書に従って、 固定具の位置を調整する。

●上記の処置をしても正しく給油できない場合は、直ちに給油を中止し、他の給油ポンプ(手動式ポンプなど)を使用して、正しく給油してください。

給油するときの目安

●ストーブを使用するときは、ときどき油量計を見て、灯油が油量計の下部(右図参照)まで減りましたら消火して、給油してください。給油は灯油がなくなる前にしてください。



点火前の準備と確認

「点火前の確認」

- ●ストーブの上方や周囲、置台の上に、布類や紙やマッチなど、可燃物がないことを確認してください。可燃物がある と火災のおそれがあります。
- ●ストーブが水平で安定した場所に設置してあることを確認してください。

「燃焼筒と油タンクのセットを確認する

- ●点火操作をする前には、必ず燃焼筒が正しくしん調節器にセットされているかどうか、燃焼筒つまみを左右に2~3回動かして、スムースに動くことを確認してください。 ●油タンクがセットされていないと、気密油タンクの給油
- 時消火装置が作動して、しん調節つまみが戻り、点火で きません。

【 対震自動消火装置のセット】

しん調節つまみを「燃焼」の方向() にゆっくり止まる まで回しますと、対震自動消火装置は自動的にセットされ ます。対震自動消火装置がセットできない場合は、一旦し ん調節つまみを「緊急消火位置」(消火装置セット)の方向 (⚠) へ回してからおこなってください。

5 使いかた

点火のしかた

/ 注意

使いはじめや、しんのお手入れをした後は、しんに充分灯油がなじむよう、給油し てから約20分待って、点火してください。 しんに充分灯油がなじんでいないと、しん上下操作が重くなったり、点火や消火が できないことがあります。

注意

●初めてお使いになるときは、点火後、ストーブに付着しているほこりや油が焼けるにおいがしますが、しばらくお使 いいただければにおいはなくなります。

●点火後しばらくの間は、炎が安定せず、「ボッ、ボッ、ボッ」と燃焼音がしますが、異常ではありません。しばらくする と炎が安定し、音がしなくなります。

目印

電池点火のしかた】

しん調節つまみを「点火」の 方向へゆっくり回す。

●しん調節つまみの目印を (day aller to) 「点火」の方向(✓) にゆ っくり完全に止まるまで回 してください。(しんが上 がり点火します。)



●点火操作の途中で「ピィー」と言う放電音がしますが、しん調節つまみはそのまま止まるまで回し

●しん調節つまみが、止まらずに戻ってしまう場合 は、油タンクが正しくセットされているか確認してください。それでも戻ってしまう場合は、一旦、 しん調節つまみを「緊急消火位置」(消火装置セッ ト) の方向(() へ回してください。回せない場 合や硬い場合は、しんにタールがついています。 しんの手入れ(から焼きクリーニング)または、新 しいしんと交換してください。

火が着いたことを確認する。

●火が着いたことを確認したら、手をしん調節つま みからゆっくりはなしてください。

●火が着いた後もしん調節つまみを回しきったままで すと、乾電池の消耗が早くなります。またカーボン が付着して、点火しにくくなる原因になります。

点火しにくい場合は

●点火プラグ付近から白煙が出て点火しにくい場合は、しん調節つまみを少し戻してから、再び「点 火」の方向に、ゆっくり止まるまで回すと点火し やすくなります。

●しんにタールやカーボンが付着したり、点火プラグが汚れてくると、点火しにくくなります。しんの手入れ、しんの修正、点火プラグの掃除をおこなって ください。(7 点検・手入れ・1 保管 参照)

●乾電池の電圧が不充分で点火しにくい場合は、新 しい乾電池〔単二形乾電池4個〕をご購入のうえ 交換してご使用ください。

A

燃焼筒のセットを確認する。

点火操作後、燃焼筒つまみを左右に 2~3回動かし、燃焼筒が正しくし ん調節器にセットされているか、し んの上にのっていないかを必ず確か めてください。燃焼筒が正しくセッ トされていないと、異常燃焼し、火 災になるおそれがあります。

[電池点火が使えないとき]

しん調節つまみを「点火」 の方向へゆっくり回す。

●しん調節つまみの目印を

ゆっくり完全に止まるまで回してください。 ●しん調節つまみが、止まらずに戻ってしまう場合 は、油タンクが正しくセットされているか確認し てください。それでも戻ってしまう場合は、一旦、 しん調節つまみを「緊急消火位置」(消火装置セッ ト)の方向((○)へ回してください。回せない場 合や硬い場合は、しんにタールがついています。

しんの手入れ(から焼きクリーニング)または、新 しいしんと交換してください。

2 マッチや市販の点火用ライターで点火する。 ●ガードを開けて、燃焼筒を持 ち上げ、マッチや市販の点火 用ライターなどを使ってしん に火を着けてください。



●たばこ用のライターで点火し ないでください。

●マッチで点火した場合は、マッチの燃えかすをし ん付近やストーブ内に落としたり、置台の上に置 かないでください。

事故や火災の原因になります。

燃焼筒のセットを確認する。

●火が着いたことを確認したら、燃焼筒つまみを左 右に2~3回動かし、燃焼筒が正しくしん調節器

にセットされているか、しん の上にのっていないかを必ず 確かめてガードを閉じてくだ さい。燃焼筒が正しくセット されていないと、異常燃焼し、 火災になるおそれがあります。



●火が着いたことを確認したら、しん調節つまみを 少しだけ (火が消えない程度に) 消火の方向に回 してみて、引っかかりがなくスムースにしんが下 げられることを確認してから、もう一度しんを上 げて使用してください。

しん調節つまみがスムースに回らないときは、燃 焼筒を持ち上げて、しんを完全に下げてから、点 火操作を始めからやり直してください。

炎の調節のしかた

⚠警告

衣類などの乾燥には使用しないでください。 衣類が乾燥すると、ストーブの熱気でゆれて落下して火がつき、火災の原因になり ます。



禁止

やかんやなべなどをのせた場合は、細心の注意をしてください。 振動や接触によって、やかんやなべなどの熱湯がこぼれ、やけどをしたり、外筒(ガラス)が割れたり、異常燃焼(立炎)の原因になります。吹きこぼれたり、煮こぼれたりした場合は、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。 ストーブの故障の原因になります。 セントウなべたどうはタンクルとのトにつせないでください。 油タンクふたなどが熱くなりやけどのおそれがあります。



注音

/1) 注思

炎の調節

●炎の調節は、しん調節つまみを回しておこなってください。

●しん調節つまみを回して炎を調節するときは、炎の状態のイラストをよく見て、必す正常燃焼の状態で使用してください。

【 炎の状態】

最大正常燃焼のときの炎の長さは、燃焼筒の上部より約1~3cmです。

異	常	E	常	正	常	異	常
X	×	O	1~3cm	O		X	
	上げすぎ くのびている)	最大正	常燃焼	最小正	正常燃焼	しんの (燃焼筒が充分	下げすぎ に赤熱しない
すすやー	・酸化炭素が 発生する		長さが 3cm	炎がわずかり	こ出ている状態	においやー	・酸化炭素が 生する

- 炎の大きさは上図のように、正常燃焼の状態でで使用してください。
- ●点火後は燃焼筒が徐々に赤熱し、数分で燃焼筒全体が赤熱します。
- ●部分的な炎の伸びや、燃焼筒の赤熱ムラがでるときは、燃焼筒つまみを持って燃焼筒を 左右に2~3回動かしてください。
- ●炎が安定したら、しん調節つまみを回して、正常燃焼の状態に調節してください。
- ●燃焼中は、ときどき炎を見て、正常燃焼していることを確かめてください。しんが上がりすぎていたり、燃焼筒がずれていると、すすが出て異常燃焼を起こして危険です。



(火力を弱くする場合の注意)

●火力を弱くした場合でも、燃焼筒全体が、充分に赤熱している状態で使用してください。

●あまり火力を弱くしすぎると、においや一酸化炭素が多く発生し、しんにタールが付着します。

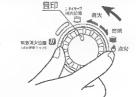
●炎の大きさは、使用時間の経過につれて、燃焼筒の酸化、耐熱しんの劣化によって小さくなってきます。しん調節つまみを回してしんをいっぱいに上げても、燃焼筒やしんの劣化などで炎が大きくならないときは、□ 【保管】「9 しんの手入れをする」の項を参照して、しんの手入れをしてください。

●変質灯油や不純灯油を使用してしまい、しんにタールが付着したり、水を含んでしまったときは、炎が大きくならないとともに、しんの上下操作が重くなります。このようなときは、□ 保管 「9 しんの手入れをする」の項を参照して、しんの手入れをしてください。

消火のしかた

通常の消火の場合

1 しん調節つまみの目印を、「ニオイセーブ消火位置」まで、ゆっくりと回す。 しん調節つまみの目印を「消火」の方向「 ○ 」の「ニオイセーブ消火位置」までゆっくり止 まるまで回してください。(速く回すとにおいが出やすくなります。)



つ 消火を確認する。

●においを少なくするため、約1~5分程燃焼(炎が一部残る)して消火します。

●しん調節つまみの目印が「ニオイセーブ消火位置」にあり、火が消えたことを必ず確認してください。

緊急の消火の場合

緊急消火ボタンを押す。

●急速に消火させるため、においやすすが発生することがあります。 しん調節つまみの目印が「緊急消火位置」にあり、火が消えたことを必ず確認してください。

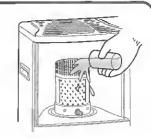
●緊急消火ボタンを押しても、しんが下がらず消火できない場合は、しん調節つまみを 強く左方向(◆)に回して、しんを下げてください。

それでもしんが下がらない場合は、油タンクを取り出し、火が消えるまで燃やしきってください。(約1時間かかります。)

●時間に余裕がない場合は、ガードを開き、燃焼簡の上にコップー杯(200mℓ程度)の水 をかけて消火してください。

水をかけると水蒸気が出たり、ガラスが割れることがあります。あわててヤケドをしないよ うに、手袋をはめるか、手にタオルを巻くなどしてからおこなってください。また、後で油 受けざら内の水の入った灯油を抜き、しん交換が必要です。

しんが下がらない原因は、しんにタールがたまっていたり、水を含んでいることがありま すので、11 「保管」「9 しんの手入れをする」を参照し、しんの手入れをおこなうか、新 しいしんに交換してください。



- お願い -

消火後、約5分間は再点火しないでください。燃焼筒が冷えないうちにしんを上げると、生ガスが発生し、激しい臭気 がでたり、点火しないことがあります。

6 安全装置

「対震自動消火装置」

- ●ストーブが地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けたとき、火災などの危険を防ぐために自動的に消火させる 安全装置です。
- ●しん調節つまみを「点火」の方向にゆっくりと止まるまで回すと、自動的にセットされます。
- ●地震によって作動した場合は、周囲の可燃物がたおれていないか、機器の損傷はないか、油がこぼれていないかなど 異常がないことを確認した後、再点火してください。

「 気密油タンクの給油時消火装置 】

- ●燃焼中に油タンクを取り出すと、自動的に消火させる安全装置です。(しん調節つまみの目印が「緊急消火位置」に 戻ります。)
- ●油タンクを本体に挿入すると自動的にセットされ、しん調節つまみが回せるようになります。●気密油タンクの給油時消火装置は、消火した状態(しん調節つまみの目印が「ニオイセーブ消火位置」にある場合) でも油タンクを抜くと対震自動消火装置がセットできなくなります。

燃焼中に、対震自動消火装置や、気密油タンクの給油時消火装置が働いた場合は、消火時のにおいが強く発生します。 給油をされるときは、においを抑えるためしん調節つまみで消火させ、消火を確認してから油タンクを取り出してくだ

7点検・手入れ

点検・手入れのしかた

【 点検・手入れをおこなうときは 】

- ●ストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
- ●手をけがしないように手袋をはめておこなってください。
- ●安全装置の取りはずし、分解はおこなわないでください。
- ●必ず乾電池を、電池ケースから取りはずしてからおこなってください。

(使うたびに)

点検箇所	点 検 内 容	処 置 方 法
ストーブの 周囲	●ストーブの周囲に可燃物や障害物がありませんか。 [火災の原因になります]	●常に整理、掃除をし可燃物をストーブの周囲に置 かないでください。
油こぼれ 油たまり 油にじみ	●油タンク、油受けざら、置台の表面に、灯油がこぼれたり、たまったり、にじんでいませんか。[火災の原因になります]	●こぼれたり、たまったり、にじんだ灯 油はきれいにふき取ってください。 #部 ●油タンクの給油口口金の、弁部な どにはさまっているごみなどを、 取り除いてください。
油漏れ	●油漏れはありませんか。 [火災の原因になります]	●灯油が漏れている場合は、すぐに使用をやめ、お 買い求めの販売店に修理を依頼してください。
外筒 (ガラス)	●欠けたり、割れたりしていませんか。[異常燃焼の原因になります]	●お買い求めの販売店に相談して、新しい外筒 (ガラス) に交換してください。

点検・手入れのしかた

1箇月に1回以上

点検箇所	点 検 内 容	処 置 方 法
はこり 燃焼用空気 取入れ部 (しん案内筒 下部)	●反射板や置台にほこりがたまっていませんか。 前板の下の隙間に紙やビニールなどが入りこ んでいませんか。 [異常燃焼や火災の原因になります]	● □ 保管 の1~5項を参照して本体を取りはずし、置台と油受けざらの隙間(特にしん案内筒の下部)のほこり、ごみなどを取り除いてください。掃 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
対震自動消火装置	●しん調節つまみを回してしんを上げてから、置台をゆすると、対震自動消火装置が作動し、そのときしんが下がり、しん調節つまみの目印が「緊急消火位置」に戻りますか。 「確実に消火することを確認」	●しん調節つまみの目印が「 緊急消火位置」 に戻らない場合は、 しん の項の点検をしてください。 ●販売店に修理を依頼してください。
乾電池	●点火プラグのスパーク音は、「ビィー」と鳴り ますか。[乾電池の電圧(消耗)点検]	●音がかすれる場合は、電圧が下がっています。 新しい乾電池に交換してください。
燃焼筒	●燃焼筒の細かい穴に燃えかすや、すすが付着 していませんか。[異常燃焼の原因になります。]	●ブラシなどを使って、燃えかすや、すすを取り除 き、きれいに掃除してください。
しん	●しんの先端にタールが付着して、固くなっていませんか。 しんにタールが付着していると、次のような不具合が発生します。	●タールが付着している場合は、□ 保管 「9 しん の手入れをする」に従って、しんの手入れをおこ なってください。
	 消火操作をしても、しんが下がらず、消火しない。 しん上下の操作が重く、スムースにできない。 点火操作をしても、点火しない。 燃焼筒が赤熱しなかったり、燃焼中ににおいがする。 	 お願い ── ●しんの手入れは、風があたる場所ではおこなわないでください。 ●しんの手入れ中はにおいがしますので、部屋の換気をしてください。 ●しんの手入れをおこなっても効果のない場合は、新しいしんに交換してください。
点火プラグ	●点火プラグが、カーボンやタールで汚れていませんか。●点火プラグがしんにくい込んでいませんか。「点火不良の原因になります」	●点火プラグが汚れているときは、「点火プラグの 掃除」に従って処置をしてください。●点火プラグがしんにくい込んでいるときは、「しんの修正」に従って処置をしてください。
気密油タン クの給油時 消火装置	●しん調節つまみを回してしんを上げてから油タンクを持ち上げると、気密油タンクの給油時消火装置が作動してしんが下がり、しん調節つまみの目印が「緊急消火位置」に戻りますか。	●しん調節つまみの目印が「 緊急消火位置」 に戻らない場合は、 しん の項の点検をしてください。 ●販売店に修理を依頼してください。

点火プラグの掃除 -

●ガードを取りはずし、燃焼筒を取り出してから、マイナスドライバーなどで、点火プラグの電極や碍子部分に付着した汚れを取り除いてください。
●掃除が終わりましたら、元通りにしん調節器に燃焼筒をのせ、ガードを取り付け、乾電池を取り付けて正常に点火するかどうか確認してください。

●点火しにくかったり、点火しない場合は、「しんの修正」をするか、もう一度きれいに掃除し直してください。また、しんの手入れ(から焼きクリーニング)をおこなうと、点火プラグに付着した汚れが取れやすくなります。(□ 保管 「9 しんの手入れをする」参照)



しんの修正 -

■燃焼筒を取り出し、しんを上げて点火プラグ近くのしんの側面を内側 に、割り箸などで軽く押さえるように撫でて、しんを整える。

●一度しんを下げてから燃焼筒をのせ、点火してください。

しんと点火プラグ の間を少し離す



8 定期点検

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。2年に1回程度、シーズン終了後などに、お買い求め店、または、修理資格者 [(財)日本石油燃焼機器保守協会 (TEL.03-3499-2928) でおこなう技術管理講習会修了者 (石油機器技術管理士) など] のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

9 故障・異常の見分けかたと処置方法-修理を依頼される前に-

故障・異常箇所	現象原因	<u>-</u>	炎が大きくならない・消えてしまう	赤火や、すすが出て燃える	消火しない・しにくい	においがする	炎がかたよる	しんが下がらない	しん上下の操作が重い	火の回りが遅い	乾電池の消耗が激しい	処 置 方 法
	しんの出過ぎ。	0	<u>う</u>	0		0						しんを下げて、炎を調節する。
					_							しんの高さを調節する。
	しんの出が少ない。	0	0	,		0				0		新しいしんと交換する。
b	しんに水を含んでいる。または油受 けざら内に水が入っている。	0	0					0	0	0		しんの手入れをする。または、新し いしんと交換する。
70	しんにタールがついている。	0	0		0	0		0	0	0		油受けざら、油タンク内の灯油を正常な灯油に交換する。
	燃焼筒がしんの上にのっている。			0		0	0	0				点火してから必ず燃焼筒つまみを持って左右に2~3回動かす。
燃焼	燃焼筒の変形。			0		0	0					内炎筒、外炎筒が変形していないか を確かめる。(変形している場合は 販売店に連絡する)
筒	しん調節器と燃焼筒との間にすき間 がある。			0		0	0					しん調節器の上面にタールがついて いないか。または燃焼筒下部に不揃 いがないかを調べる。
	外筒(ガラス)にひびや割れがある。			0		0	0					外筒(ガラス)を交換する。
燃	灯油が変質している。(汚れた油やポリ 容器で1年間持ち越した油など)	0	0		0	0		0	0	0		しんにタールがつく原因となるので 正常な灯油に交換する。
料	灯油が水やごみを含んでいる。	0	0					0	0	0		正常な灯油に交換する。
油タンク	給油口口金が間違っている。	0	0									給油口口金を正しいものに取り換え る。
5	油タンクが本体に入っていない。	0										油タンクを本体に入れる。
乾電池	乾電池が消耗している。	0					-					新しい乾電池に交換する。
池	正しく入れていない。	0						ļ.,	-		10	
点	点火装置のコードがはずれている。	0										コートがはずれているときは正しく差 し込む。その他は販売店に連絡する。
火	点火装置がショート(短絡)している。	0									0	ショートしないように直す。 不明のときは販売店に連絡する。
装	点火プラグの電極が正常でない。	0										点火プラグが破損していないか確かめる。 (破損している場合は販売店に連絡する)
置	点火プラグがしんにくい込んでいる。 点火プラグが汚れている。	0										しんを修正する。 点火プラグを掃除する。
置台	製品内部に、ほこり、ごみがたまっている。			0								製品内部を掃除する。

この表以外の不具合があるときや、処置方法により処置をしても良くならないときは、使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

/// 注意

しんなどの交換部品は、必ずトヨトミ純正部品(指定された部品)を使用してくださ

純正部品を使用しないと、ストーブの性能を損なうばかりでなく、故障や予想しな い事故が発生するおそれがあります。



点火装置は、点火時に高電圧が発生します。点火プラグに不用意にさわらないでく ださい。感電のおそれがあります。

掃除・点検・お手入れをするときは、必ず乾電池を取りはずしてからおこなってく ださい。



●替えしん、外筒(ガラス)、燃焼筒などの交換部品が必要な場合は、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

●部品が販売店にない場合は、別紙の お客様相談窓口一覧 までお問い合わせください。 インターネットでの部品購入は、http://toyotomi.shop14.makeshop.jp/ をご覧ください。

「 部品交換のときの注意 】

- ●ご自分で部品交換される場合は、下記の項目を守り、やけどや感電、けがなどしないよう注意しておこなってください。 ①手をやけどしないように、ストーブは消火し、温度が充分下がるまで待ってください。
 - ②感電しないように、乾電池は必ず電池ケースから取りはずしてください。
- ③手をけがしないように、手袋をはめてください。 ●不完全な修理は危険です。お買い求めの販売店か、(財)日本石油燃焼機器保守協会でおこなう技術管理講習会修了 者(石油機器技術管理士)などのいる販売店で修理依頼されることをおすすめします。

しんの交換のしかた

トヨトミ純正適合しん

下日耐熱しん第29種 (TTS-29) RS-S29A ドヨ耐熱しん第129種 (TTS-129) RS-S23A 商品コード11256907

しんの交換方法・注意内容は、 トヨ耐熱しんに添付されている 取扱説明書をお読みください。



検査に合格したしんにはこのマーク が貼ってあります。マークの色彩は、 白地に赤インクで表示されています。

燃焼筒の交換のしかた

| 燃焼筒 RS-S29A | 商品コード11275006 | 燃焼筒が変形した場合や、外筒 (ガラス) が割れたりした場合は、お買い求め 燃焼筒 RS-S23A 商品コード11113106 の販売店、または別紙の お客様相談窓口一覧 までお問い合わせください。

点火プラグの交換のしかた

点火プラグを交換するときは、お買い求めの販売店または、別紙の「お客様相談窓口一覧」までお問い合わせください。

乾電池の交換のしかた

- 4 「使用前の準備」「乾電池を取り付ける」を参照して、必ず4個とも市販の新しい乾電池(単二形乾電池)に交換し てください。
- ●取りはずした古い乾電池は、表示してある使用推奨期限内は、電池能力が残っていれば他の製品に使用できますの で、再利用されることをおすすめします。

長期間使用しない場合)

个注意

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず灯油を抜いて、電池ケースから 乾電池を取りはずしてください。傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。 火災のおそれがあります。



油タンク内の灯油を抜き 取る。

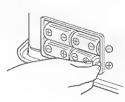
> ①ストーブから油タンクを取 り出し、市販の給油ポンプ (手動式)を、ななめに入れ て、油タンク内の灯油を抜き取ってください。

②わずかに残った灯油は、 タンクに給油口口金を取り 付け、油受けを本体の中か ら取り出して給油口口金に 押し当て、油タンクを上下ミ にゆすって抜いてください。-



バケツ

電池ケースから乾電池を、取 り出してください。

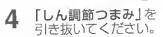


お願い

乾電池を取り付けたまま保管すると液漏れしてスト ブを腐食させることがあります。

3 緊急消火ボタンを押して、対震自動消火装置を作動させ、しんを下げてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。







5 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



6 油受けざら内の灯油を抜き取る。

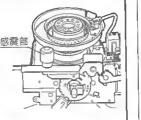
油受けを取り出してから、油受け ざら内の灯油を市販の給油ポンプ (手動式)で抜き取ってください。

(手動式)で抜き取ってください。 ●油タンク、油受けざらに水やごみが残ったまま保管すると、錆や穴あきの原因になります。きれいな灯油ですすぎ洗いをしてください。残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。



感震部の点検・手入れをおこなう

- ●ごみやほこりがついていたら、 やわらかい布できれいににふき 取ってください。
- ●錆が多量に発生している場合 は、お買い求めの販売店に修理 を依頼してください。
- ■ストーブ内の汚れは濡れた布で ふいて落とし、乾いた布で水気 を取り除いてください。



- 7 本体を元通りに組付け、燃焼筒をしん調節器の上に正しくのせてください。
- 別油を抜いた油タンクを本体にセットします。
- **9** しんの手入れをする。(から焼きクリーニング)

お願い-

- ●しんの手入れは、風があたる場所ではおこなわない でください。
- ●しんの手入れ中はにおいがしますので、部屋の換気 をおこなってください。
 - ●しんの先端が固くなっているときは、ラジオペンチなどで固い部分を軽くつぶしてからおこなってください。

①通常の点火操作をして、正しく燃 焼させてください。

②火力が小さくなったら、しんを一杯に上げて自然に消火するまで燃 やしきってください。



1 ⋂緊急消火ボタンを押す。

対震自動消火装置を作動させ、しんを下げた状態に してください。

11 収納する。

包装箱に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。 「取扱説明書」や「保証書」も忘れずに大切に保管 してください。

-お願い-

- ●高温多湿、直射日光の当たる場所には、保管しない でください。
 - 錆が出たり、樹脂部品が変形する原因になります。
- ●油タンクは灯油を抜き、本体にセットして保管して ください。

●灯油は、変質を防ぐため、翌シーズンに持ち越さない(使いきる)ようにしてください。

●取りはずした乾電池は表示してある使用推奨期限内は電池能力が残っていれば他の製品に使用できますので、再利用 されることをおすすめします。

12 廃棄するとき

□ 保管 の1~6項を参照して、油タンク、油受けざら内の灯油を抜き取り、電池ケースから乾電池を取りはずして廃棄してください。

13 仕 様

型式の呼び	RS-S29A	RS-S23A	型式の呼び		RS-S29A	RS-S23A				
自然通気形開放式石油ストー		式石油ストーブ	b) III	おは、高さ		外形 寸法 高さ 446mm 480mm				
種類	類 しん式・放射形		フト ル (置台を		幅	幅 422mm				
点火方式	電池点火[単二形草	を電池4個・別売]	「屋口で	[四()	奥行	330)mm			
質 量	約6.8kg	約6.6kg	13		類	普通問	笥しん			
使 用 燃 料	灯油(し	IS1号)		種	炔	トヨ耐熱しん第29種(TTS-29)	トヨ耐熱しん第129種(TTS-129)			
	2.87kW	2.25kW	Uh	呼び	内径	65	mm			
最大燃料消費量	(0.279 L/h)	(0.219 L/h)		寸法	厚さ	2.5mm				
暖房出力	2.87kW	2.25kW		7.1 <u>√</u>	吸上量	200%	135%			
油タンク容量			安	全等	支 置	対震自動消火装置(しん降下式)				
燃焼継続時間	約12.9時間	約16.4時間	54	土 4	X E	気密油タンクの	給油時消火装置			

保証について

- ●添付しております保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管して ください。
- ●保証期間は、お買い求めの日より1年間です。

- お願い -

つぎのような原因による故障および事故につきましては、保証の対象となりませんので注意してください。

- (1)変質灯油や不純灯油など、また灯油以外の燃料を使用したための故障や事故。
- (2)ほこりや汚れなど、手入れのゆきとどかないためにおこった故障や事故。 (3)純正部品以外のものを使用したり、しんにタールが付着したり、水を吸ったり、乾電池の電圧不足による故障。

(4)消耗部品(乾電池、しん、点火ヒーターなど)の故障。

- (5)この取扱説明書や、注意書、ラベル類による指示、危険・警告・注意・お願い事項が守られず、誤った使い方をされ た場合の故障や事故。
- ●その他詳細な保証内容については、保証書の記載内容をご覧ください。

修理を依頼するとき

- 図 故障・異常の見分けかたと処置方法 に従って、処置をおこなってくたさい。 直らないときは、使用を中止し、必ずお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
 - ①品名…石油ストーブ(自然通気形開放式石油ストーブ)
 - ②型式の呼び…(例) RS-S29A
 - ③お買い求め年月日
 - ④故障の状況(できるだけ具体的に)
 - ⑤おなまえ、おところ、電話番号
- ●修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
- ●保証期間が過ぎていても、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ●修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
- ●修理・引越しなどで、ストープを運搬される場合は、電池ケースから転電池を取りはすして、油タング・油度けど ら内の灯油を抜いてください。運搬の途中に灯油がこぼれ、周囲を汚すおそれがあります。

補修用性能部品について

- ●石油ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。
- ●補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ◉ 消耗・劣化する部品
- ●使用期間により、交換・メンテナンスが必要な部品…しん、給油口口金、油受け
- ●変質灯油、不純灯油の使用で劣化しやすい部品…しん

故障・修理の際の連絡先

アフターサービスについてご不明点は、お買い求めの販売店、または「お客様相談窓口一覧」(別紙参照)までお問い合わ せください。

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型	式	v M	お買い求め年月日		年	月	B
お買い求め店	名		(電話番号)	()	_	

株式会社 1-31-5

ホームページ http://www.toyotomi.jp

社 〒467-0855 本

> 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号 フリーコール 0120-104-154 TEL (052)822-1144 FAX (052)822-2742